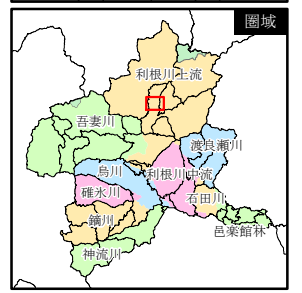
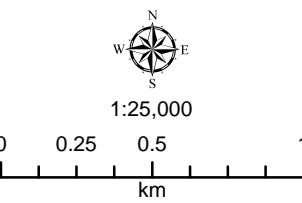


1406	1407	1408
1306	1307	1308
1206	1207	1208

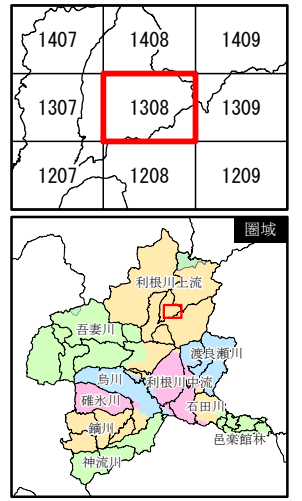
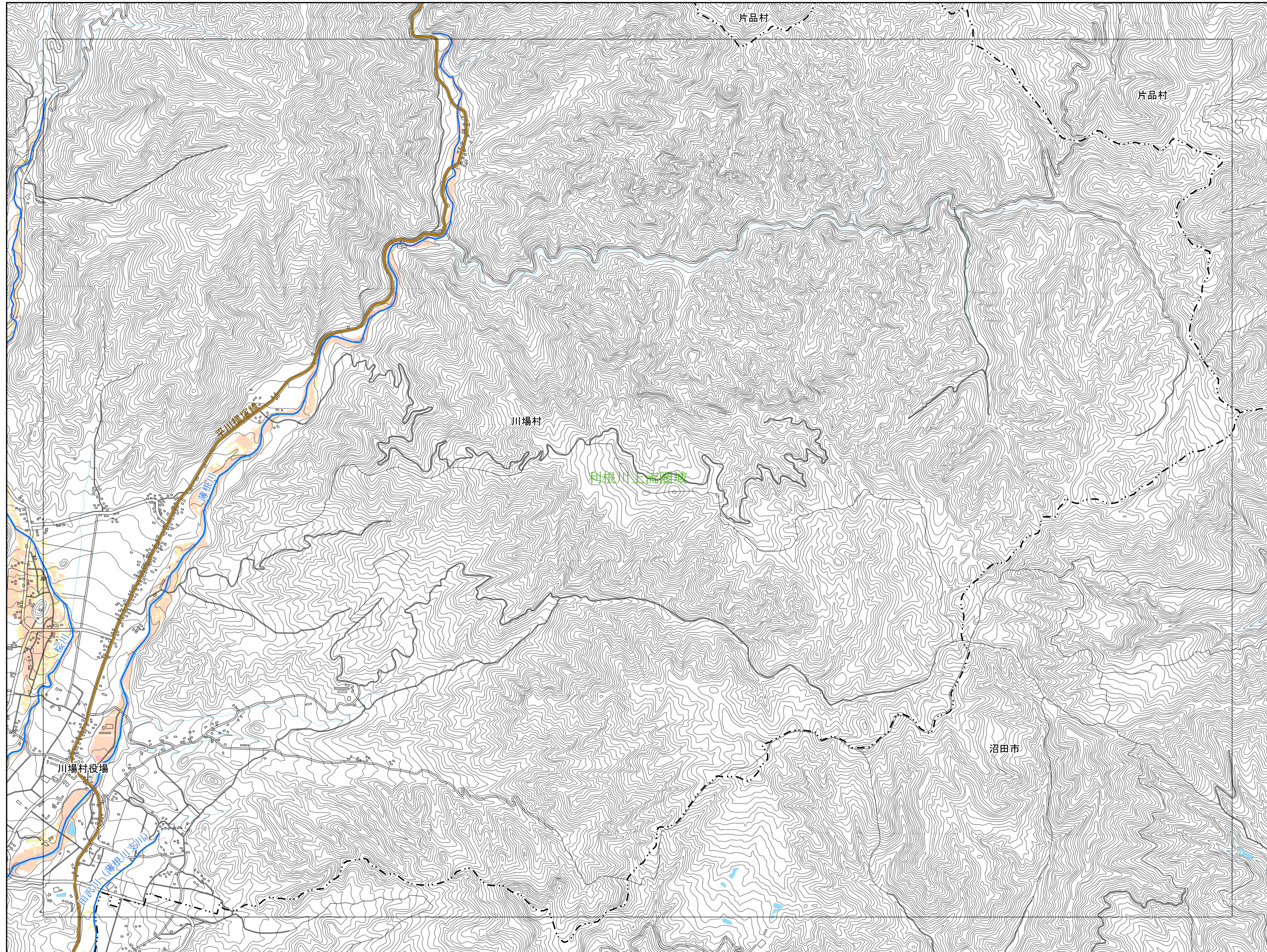


- 凡例
- 市町村界
 - 都道府県界
 - 圏域界
 - 河川等範囲
 - 重要施設
 - 県庁
 - 市役所
 - 役場
 - 道路
 - 緊急輸送道路
 - 鉄道
 - 新幹線、JR
 - 公営・民営・第三セクター
 - 浸水深
 - 0.5m未満
 - 0.5m～3.0m未満
 - 3.0m～5.0m未満
 - 5.0m～10.0m未満
 - 10.0m～20.0m未満
 - 20.0m以上

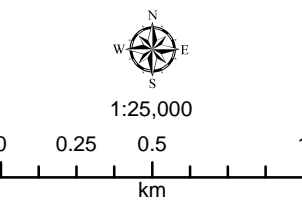


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 993」

この図は、洪水により河川の溢水、堤防の越水・決壊が考えられる各地点において、河川が氾濫した場合に想定される浸水範囲を重ねて表示したものであり、特定の洪水が発生した場合に想定される浸水範囲を示したものではない。なお、シミュレーションの予測結果については、今後、洪水記録や解析手法の高度化などに応じて見直しを行う場合がある。

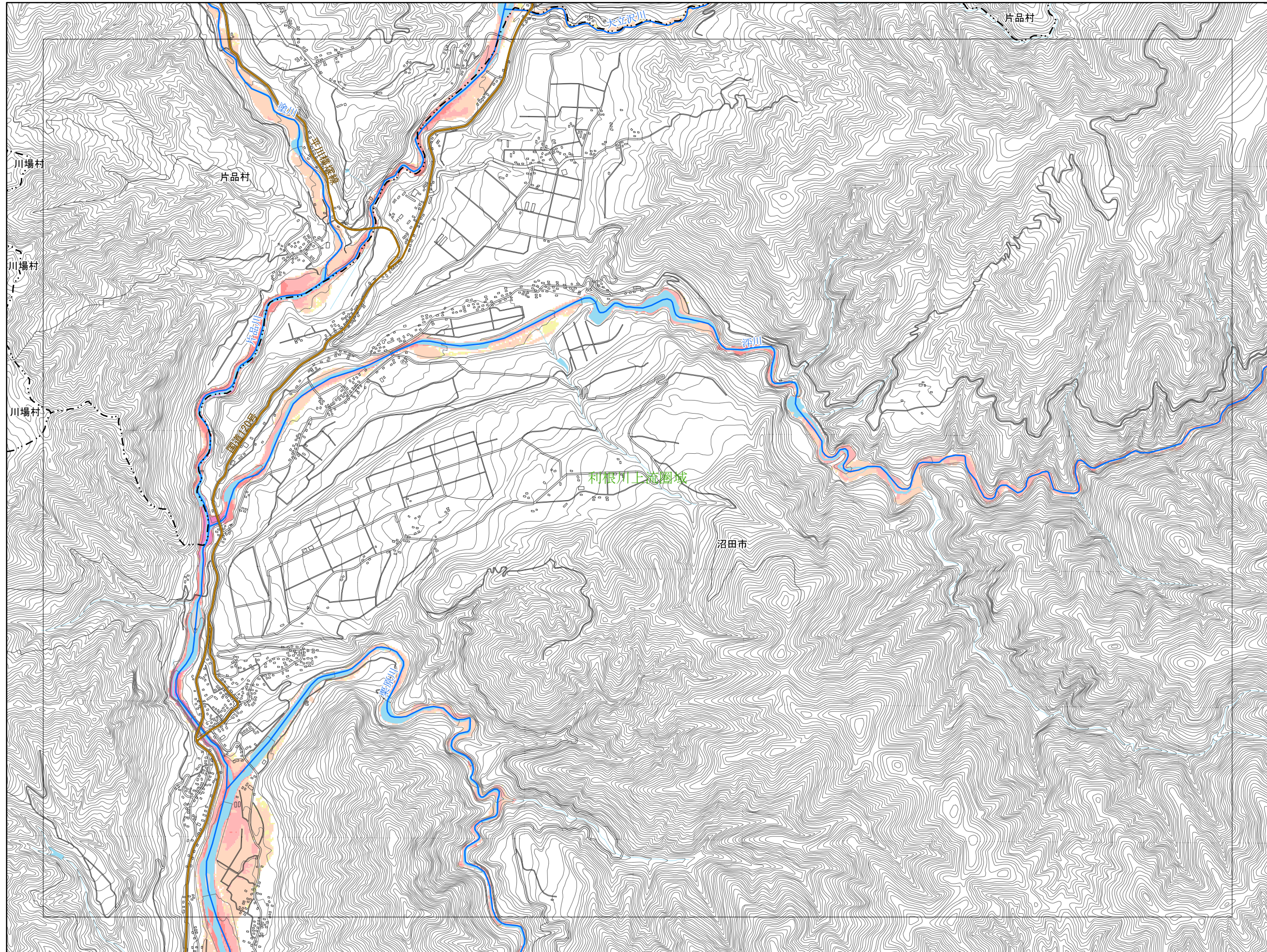


- 凡例
- 市町村界
 - 都道府県界
 - 圏域界
 - 河川等範囲
 - 重要施設
 - 県庁
 - ◎ 市役所
 - 役場
 - 道路
 - 緊急輸送道路
 - 鉄道
 - 新幹線、JR
 - 公営・民営・第三セクター
 - 浸水深
 - 0.5m未満
 - 0.5m～3.0m未満
 - 3.0m～5.0m未満
 - 5.0m～10.0m未満
 - 10.0m～20.0m未満
 - 20.0m以上



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 993」

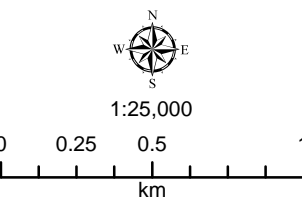
この図は、洪水により河川の溢水、堤防の越水・決壊が考えられる各地点において、河川が氾濫した場合に想定される浸水範囲を重ねて表示したものであり、特定の洪水が発生した場合に想定される浸水範囲を示したものではありません。なお、シミュレーションの予測結果については、今後、洪水記録や解析手法の高度化などに応じて見直しを行う場合があります。



1408	1409	1410
1308	1309	1310
1208	1209	1210

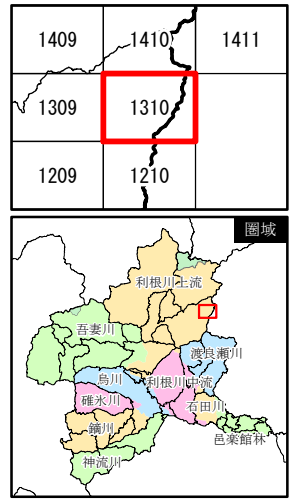
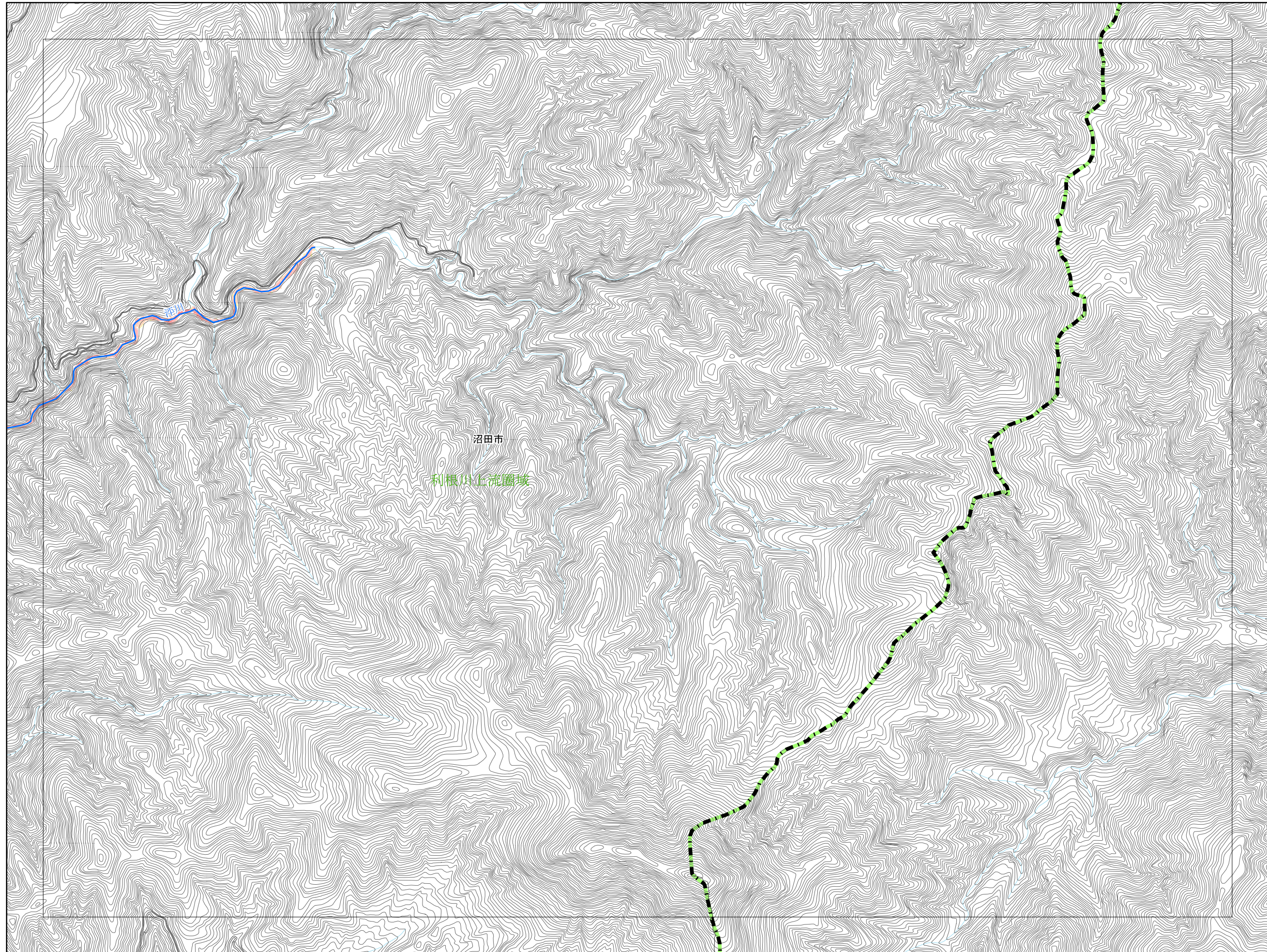


- 凡例**
- 市町村界
 - 都道府県界
 - 圏域界
 - 河川等範囲
 - 重要施設**
 - 県庁
 - ◎ 市役所
 - 役場
 - 道路**
 - 緊急輸送道路
 - 鉄道**
 - 新幹線、JR
 - 公営・民営・第三セクター
 - 浸水深**
 - 0.5m未満
 - 0.5m～3.0m未満
 - 3.0m～5.0m未満
 - 5.0m～10.0m未満
 - 10.0m～20.0m未満
 - 20.0m以上



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 993」

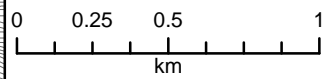
この図は、洪水により河川の溢水、堤防の越水・決壊が考えられる各地点において、河川が氾濫した場合に想定される浸水範囲を重ねて表示したものであり、特定の洪水が発生した場合に想定される浸水範囲を示したものではない。なお、シミュレーションの予測結果については、今後、洪水記録や解析手法の高度化などに応じて見直しを行う場合がある。



- 凡例
- 市町村界
 - 都道府県界
 - 圏域界
 - 河川等範囲
 - 重要施設
 - 県庁
 - ◎ 市役所
 - 役場
 - 道路
 - 緊急輸送道路
 - 鉄道
 - 新幹線、JR
 - 公営・民営・第三セクター
 - 浸水深
 - 0.5m未満
 - 0.5m～3.0m未満
 - 3.0m～5.0m未満
 - 5.0m～10.0m未満
 - 10.0m～20.0m未満
 - 20.0m以上



1:25,000



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 993」

この図は、洪水により河川の溢水、堤防の越水・決壊が考えられる各地点において、河川が氾濫した場合に想定される浸水範囲を重ねて表示したものであり、特定の洪水が発生した場合に想定される浸水範囲を示したものではない。なお、シミュレーションの予測結果については、今後、洪水記録や解析手法の高度化などに応じて見直しを行う場合がある。